

図書館だより

vol.35
No.1

Bulletin of the Hokkai-Gakuen University Library

北海学園大学附属図書館報 第35巻1号(通巻204号) 2013.4.1



札幌市 円山公園

画：川田裕之

CONTENTS

ドン・キホーテ教授かく語りき
小島康次 2

菅原寧格 野口 剛
私が薦めるこの1冊 3

特別企画：図書館職員による座談会 4
アルバイトーク／図書館からのお知らせ／編集後記
..... 8

“海辺”をめぐる、二つの物語と言葉

—母性原理と父性原理の視座から—

●図書館長 小島康次

新年度になり図書館の体制も大きく変わりつつある。私、ドン・キホーテと三年間二人三脚で歩んできたサンチヨバンサことN村事務長も、11年間にわたる図書館勤務に一区切りつけて他の部署へ配置替えとなった。寂しい限りだが別れは世の常やむを得ない。「さよならだけが人生だ」とは、井伏鱒二が漢詩『勸酒』を訳して多くの人に愛でられるようになった名句。異能の詩人、劇作家にして稀代の競馬評論家でもあった寺山修司は著書『ポケットに名言を』の冒頭の章で、名言とは単なる思い出にすぎないような言葉ではなく、世界全部の重さと釣合うような言葉だとしながら、「学生だった私にとっての、最初の“名言”は井伏鱒二の“花に嵐のたとえもあるさ、さよならだけが人生だ”という詩であった。」と述べている。寺山にとってこの言葉は人生を左右する処世訓であり思想だったのだろう。

2013年早々、表題の“海辺”とかかわるサヨナラは、第三の新人（遠藤周作、吉行淳之介、三浦朱門、曾野綾子、阿川弘之ら）と呼ばれた戦後の作家群の代表格だった安岡章太郎の死である。彼もまた井伏鱒二に強く影響された作家の一人だった。初期の自伝的作品『海辺の光景』（1959）は野間文芸賞を受賞して安岡の筆名を一気に高めた。私がこの作品を知ったのは江藤淳の『成熟と喪失—母の崩壊—』（1993）を通じてだった。

作品のあらすじ。母が危篤であるとの知らせを受け取った主人公信太郎が、母親の入院する海辺の精神病院へと到着してから、彼女が亡くなるまでの九日間を描いた中編小説。江藤（1993）が最初に取り上げたのが安岡の『海辺の光景』だった。続いて小島信夫の『抱擁家族』、遠藤周作の『沈黙』、吉行淳之介の『星と月は天の穴』が取り上げられ、日本人の精神構造に欠落した「近代」を父性原理の希薄化と母性原理の喪失という二重の欠如からの宿命として鋭く論じた評論である。しかし、この切り口が我々日本人にとって如何に不可視で理解しづらいものであるかは、江藤が『成熟と喪失』本文でこれでもかと言わんばかりの議論を展開しているにもかかわらず、「著者から読者へ：説明しにくい一つの感覚」という屋上屋を重ねる一文を付け加えていることから推測される。

江藤が米国プリンストン大学への留学から帰国後、文芸時評で批評したことのある『海辺の光景』にあらためて取り組んだ時の感想を次のように述べている。「…そのときと比べてみると作品が全く違ったものに見えるようになっていたのには驚かざるを得なかった。」2年間のアメリカ生活が江藤にもらしたものは何だったのだろうか。「…私にはアメリカで生活した者にしかわからない

い、ある一つの感覚が沁みついていた。…敢えて言えば、それは、人はこの国（アメリカ）では孤独であることが許されている、とでもいうような感覚である。…『海辺の光景』は、そういう感覚が自分の身に沁みついていることを、あらためて痛感させてくれる作品であった。…“母”の崩壊と“父”の不在という、1960年代半ばには文学作品の作品空間にだけ描かれていた虚構上の現象は、以後ほぼ三十年のあいだに日本ではごくありふれた一般的社会現象となり、定着した。」

夏目漱石の作品（『明暗』、『行人』）との比較はこの一文の守備範囲を超えるけれども、漱石が同様の問題意識をもっていたことを江藤は随所で論じる。そして『成熟と喪失』本文の末尾、「…近代のもたらしたこの状態をわれわれがはっきりと見定めることができ、“個人”であることを余儀なくされている自分の姿を直視できるようになったとき、……そのときおそらく、夏目漱石が『明暗』で投げかけた問題に答え得る作家を、われわれは迎えることになるのかも知れない。」と結ぶ。

そんな作家が日本に現れることはあるのだろうか？

「この作家の本に出てくる連中は、みんながみんなナルシストなんだよ。僕のアイデンティティだとか何とか。アホかと。クラスにこういうやつがいたら絶対嫌われてますよ。」

「うっせーんだよ。お前早く死ねよ！」みたいなセリフは死んでも出てこないし、そういうキャラが存在しない。」これは現代のベストセラー作家、村上春樹の作品に対する読者のネガティブな感想である。こうした低評価が特に酷いのはもう一つの“海辺”作品、『海辺のカフカ』（2002）だ。プロの批評家の中にもこの作品を酷評する方がいらつしやる。興味深いのはこの作家ほど、海外で高く評価されている日本人作家はいないということだ。2005年には英語版 Kafka on the Shore がアメリカ、イギリスで刊行された。同年、同翻訳版が「ニューヨーク・タイムズ」紙で年間の「ベストブック10冊」及び世界幻想文学大賞に選出されたことは特筆に値する。

あらすじ。四国の高松市に移り住み、自立することを願う主人公「僕」と、東京都中野区野方に住み、猫と話ができる不思議な老人、ナカタさんに次々と起こる、または過去に起こった出来事をパラレルに追う構成の長編小説。私見では、映画『ものすごくうるさくて、ありえないほど近い』（2011）のストーリー展開と類似している。共に父性原理を背景にした作品で、村上作品に対する嫌悪感の表明と、後者の映画に対する緩やかな無視とが、日本社会の母性原理いまだ健在であることの証左と私には思えるのだが…。（傍点筆者）

私が薦める
この1冊

三木清著
『読書と人生』

(新潮文庫、1974年)

文＝菅原寧格

(すがわら やすのり／法学部准教授)

「他人が薦めてくれた本を読んで深く感動したという経験が私にはあまりない」(井上達夫『他者への自由』(創文社、1999) 84頁)。この言葉に共感できる人は少なくないだろう。私自身、「人生が案内されて生きるものではない」ように「読書は案内されてするものではない」と言われ(前掲書)、得心した一人である。そんな私が他人に本を薦めるのも滑稽だが、本書は別だ。本書を通じて、読者は「読書」とは何たるかを会得するに違いない。

本書は短編集である。だが、単なる短編集ではない。そこかしこに「読書」のヒントが詰まった、繰り返し味読したくなる短編集だ。短編集ゆえ、どの章から読むも自由。「人生」における「読書」の意味とは何だろう…、そんな思いを馳せなが

ら…、熱しやすく冷めやすい私も飽きずに読めた！

惜しむらくは、本書が書店で購入できないことだ。ただ、入手が困難だけで解決策が無いわけではない。まずは古本屋。割高だが、新潮文庫のサイトからオンデマンドで購入することもできる。また、所収されている各短編はネット上の青空文庫から入手することも可能だ。もちろん、約100万冊(!)の蔵書数を誇る本学附属図書館にも配架されている。もともと、借り出した者は期限内に読了し返却せねばならぬゆえ、「読書」が捗ること請け合いだ。もし、それで図書館と「ともだち」になれたなら、しめたもの。出会えて良かった「読書」の「案内」。本書の醍醐味が此处にある。

私が薦める
この1冊

宮本勝浩著
『「経済効果」ってなんだろう?』

(中央経済社、2012年)

文＝野口剛

(のぐち ごう／経済学部准教授)

〇〇の経済効果は△△億円になるでしょう!といったニュースを最近よく聞くようになりました。例えば、「ハンカチ王子の日ハム入団に伴う北海道内の経済効果は、2011年には37億5032万円となるでしょう!」というニュースがその一例です。そんなにあるのか、もしくは、それだけしかないのか、と感じ方はそれぞれ異なるかもしれませんが、しかし、そもそもこれらの数値はどのように導出されているの?、この「経済効果」というのは一体何を指しているの?、本当に正しいの?、などの疑問を抱いた方もいるかもしれません。これらの疑問に、豊富な事例を用いてやさしく解説しようとしたのが本書です。

ハンカチ王子以外に本書で取り上げられている

経済効果の推計事例は、吉本興業、阪神タイガース、AKB48、たま駅長、ウリ坊とみわちゃん、くいだおれ太郎、などです。例えば、2003年の阪神タイガース優勝時には、近畿圏で1481億3000万円の経済効果があったとのこと。その他の事例や推計が正しかったか否かの検証結果は本書を読んでのお楽しみとしますが、挿絵が豊富で大変読みやすく、スイスイ読みすすめられます。

本書を通じて、大学ではじめて学習する経済学の知識は意外と身近で使えるのかもしれないな、経済学ってこんなことも勉強するのか、できればこういう推計を私もやってみたいけど、どうやってするのかな?、などと思うきっかけになればと思います。

特別企画 図書館職員による座談会

ベテラン座長のもと、辰・戌・巳年生まれの職員が心のままに語り尽くす！！

(座・辰・巳：本館職員 戌：工学部図書室職員)

座：今回は座談会形式で、図書館の施設とお薦めの本や映画を紹介してもらおうと集まっていただきましたが、まずは辰さん、図書館のここを知ってほしい、というところがあればお願いします。

辰：建物の中を眺めると、いわゆる「図書館」という雰囲気がありますね。木目を基調としていますし、落ち着いた勉強できる環境です。巳さんはいかがですか？

巳：落ち着いて勉強できる環境です。

戌：同じかいっ！！（一同、どっと笑い）

座：学生の頃はどうかだった？

巳：学生の頃は本を借りる用事じゃなくて、勉強する用事でしか使ったことがありませんでした。うふふふ。

座：最近は本を借りたり勉強をしたりする他に、DVDを観るといった学生さんも多いですね。その辺り、戌さんどうですか？

戌：工学部図書室には再生機器が4台あって、全部一度に利用されることはあまりないんですが、それでも利用は多いですね。

座：工学部学生の図書室全体の利用はどうなんですか？

戌：講義の課題を勉強するために来る学生さんはいるんですけど、それ以外だと寄りつかないという方は多いんじゃないですかね。

座：今は工学部にも専門書だけではなく、小説や一般の図書もあるのにね。利用しないのはもったいないねー。

戌：そうですね。ぜひ、工学部図書室もどんどん利用してほしいです。

座：図書館の知ってほしいところとして、私からは、図書の長期貸出があるということですね。夏季と春季の休業中には1ヶ月以上も借りられるんですよ。あと、借りられている本の予約や、豊平・山鼻校舎間の図書の取り寄せなんかもできます。

辰：1年生で、サークルにも入っていないくて、まだ大学にもなじみがなく、これといった居場所がないという学生さんにも、講義の合間にはDVDやCDを視聴したり雑誌を読んだり、いろんな利用方法があると思うんですよ。

巳：DVDは本当に新作が早く入るんですよ。

座：あと、昔の名画もあります。

辰：僕、びっくりしたんですけど、黒澤明とか小津安二郎なんかも置いてあるんですよ。寅さんシリーズも。個人ではなかなか買えないシャーロック・ホームズやボワロなどのドラマの全集もあるんですよ。

座：そういう昔の海外ドラマはレンタル屋でも置いていないから貴重ですね。

辰：注意してほしいのは、DVDやブルーレイ、CDは著作権の関係で館外への貸出ができません。図書館内にある機器で視聴してもらってます。

座：それと、図書館利用の詳細については、学生のみなさんに配布されている「利用案内」を読んでもらえるといいですね。

座：では次に、新入生、在学生にぜひ読んでほしい本や、観てほしい映画について語っていただきたいのですが。

辰：吉田修一の『横道世之介』という小説があるんです。地方から東京に出てきた超お人好しな大学生

の話なんですけど、大学時代の友達との交流やいろんな人たちの出会いがあって、様々なことに巻き込まれていくうちに、その人たちの人生も変えてしまうという内容です。学生時代に読むと、共感できる面とそうじゃない面とが出てくると思うんですけど、難しい話ではないのでとても簡単に読めて面白いです。



横道世之介
吉田修一 著
毎日新聞社
2009

座：最近の小説？

辰：2010年の本屋大賞で3位になっているんですよ。吉田修一は結構読んでいますが、その中でもとっつきやすいんですよね。映画化も最近されています。

戌：僕は自己啓発系が好きでよく読みます。新入生におすすめしたいのは『なぜ「大学は出ておきなさい」と言われるのか』という本なのですが、新書でそれほど厚くもなく読みやすいです。内容は「なぜ勉強をしなければならないのか」とか、「働くというのはどのようなことなのか」といったことが簡潔に書かれていて、これから大学生活を送る上で、結構ためになるのではないかと思います。



なぜ「大学は出ておきなさい」と言われるのか
浦坂純子 著
筑摩書房
2009
ちくまプリマー新書：099

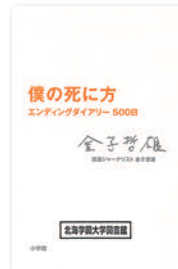
座：なぜ勉強をしなければならないのか、ですか。

戌：ちなみに、この本の中では「本人の可能性の幅を広げるため」と書いてありましたね。

辰：確かにそうかもしれないね。それは父親にも言われたような気がする。巳さんのお勧めの本は何ですか？

巳：このあいだ亡くなった流通ジャーナリストの金子さんの本で、春号に掲載する内容としてはどうかとも思ったんですが……、『僕の死に方』という

本がおすすめです。あと、宮部みゆきの『ソロモンの偽証』という本で、これはすごく厚いんですよ。私、あまり本は読まないし、その本は登場人物がすごく多くて、そういうのも苦手なんですけど、登場人物一人ひとりの背景が細かく説明されているのでとても読みやすいんです。



僕の死に方：
エンディング
ダイアリー
500日
金子哲雄 著
小学館
2012



ソロモンの偽証
(第1部～第3部)
宮部みゆき 著
新潮社
2012

辰：金子さんの本はどういう内容なんですか？

巳：私、金子さんが出演していた「ホンマでっか!? TV」というテレビ番組が好きでよく見ているんですが、本を読むと、病気を宣告された日も番組の収録があったと書かれていて、そのときの放送も見ていたので感慨深いものがあるんですよね。で、死ぬまで仕事をしていたい、というようなことも書かれていて。

辰：大学生の時は自分の死についてなかなか考える機会がないと思うんだけど、本を読んで知識として「死んでいく」ということについて考えるのも大切だね。

座：読書を通じて疑似体験ができますからね。

辰：そういった内容でいけば、重松清が良い本をたくさん書いていて、小説の中でも「生きること」と「死ぬこと」について考えさせられる作品が多いんです。特に『その日のまえに』はおすすめです。それと、リリー・フランキーの『東京タワー』。これは、僕らもそうだけど、いずれ親の死に目会うであろうという、これからのためにもぜひ読んでもらいたいですね。

巳：本当に、自分もいつ死ぬかわからないので、毎日後悔のないように生きなければ、と思いました。



その日のまえに
重松 清 著
文藝春秋
2005



**東京タワー：
オカンとボクと、
時々、オトン**
リリー・フランキー 著
扶桑社
2005

辰：いろいろなことを体験した人が、活字を通して読ませてくれるのが魅力だね。図書館にはそういった本もたくさんあるので、ぜひ読んでほしいと思います。

辰：じゃあ、ちょっと僕、映画いってもいいですか。

座：ぜひぜひ。

辰：普通の映画ではなく、ちょっと毛色の違うものをおすすめしたいと思いますが、みなさん、ミュージカル映画って観ます？

座：有名なミュージカル映画といえば、昔から『雨に歌えば』とか、ロバート・ワイズの『ウエストサイドストーリー』とか……。

辰：僕が最初に観たのは『サウンド・オブ・ミュージック』でした。中学生のときに中体連で敗退して、そのときに学校に集められて観たんですよ。



**サウンド・オブ・
ミュージック**
ロバート・ワイズ 製作・監督
20世紀フォックス
ホームエンターテイメント
ジャパン
2001

辰：それから、『レント』というアメリカのブロードウェイ・ミュージカルもあります。弱者と金持ちとの戦いに、HIVやドラッグなどのアメリカの社会問題も絡んでいく青春群像劇です。ダンスや歌

はもちろんありますが、歌がオペラ調ではなくてロックっぽかったりもするので入りやすいかもしれません。



レント
クリス・コロバス 監督・製作
ソニー・ピクチャーズ
エンタテインメント
2006

座：実は今年の7月になると、より良いヘッドホンで音響を楽しめるようになるんですよ。これで音漏れもなくなるはず。

辰：ちなみに歌舞伎も僕好きなんですけど、『勘九郎箱』とか入ってますよね。映画以外のDVDも多くて、サッカーのワールドカップの試合も観れますし。今は書庫にありますが、『仏像大好。』は日本文化学科の学生さんもいますからおすすめですよ。



**仏像大好。；東大寺・円成寺・
大安寺編－飛鳥寺・中宮寺・
新薬師寺・西大寺編**
コロムビアミュージック
エンタテインメント
2010

座：ああじゃあね、おっさんから。『キックアス』だね。アクション映画が好きなんっていう限定ではあるんだけど。概要を言うと、女の子が大暴れしてマフィアと戦う。この作品のすごいところは、こんなテーマでもどうやったら面白い映画が作れるか向き合っていること。それと、暴力の連鎖についてもかかっているんだ。



キック・アス
マシュー・ヴォーン 監督
カルチュア・パブリッシャーズ
2011

グリーンマイル
フランク・ダラボン
監督・製作・脚本
ボニーキャニオン
2004



戌：最後の晩餐じゃないですけど、死ぬ前に観るならっていう映画ありますか？ 僕は『グリーンマイル』が好きなんです。映画を観て初めて泣きました。

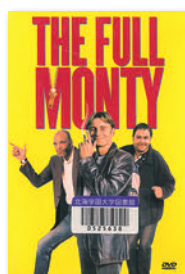
巳：私、ハリー・ポッターの最終話だけ見てないんですよ。なので、それだけ観て死のうかな。ちなみに私は映画を観ても絶対に泣きません。

戌：座長はいかがですか？

座：『キックアス』は泣ける！

巳：……。

座：それはさておき、私からはこの映画をぜひ見ていただきたい、という作品として『フル・モンティ』を紹介します。これは面白くて映画館に2回観に行きました。内容はイギリスで鉄工所をクビになった男たちがストリップショーをする、その悲喜こもごもの話なんですけど、悲しいときや悩んでいるときに見ていただきたいですね。これを見ると、人間というのはいろいろあっても、案外何とか生きて行けるんだな、と思うことのできる、本当に



フル・モンティ
ピーター・カッターネオ 監督
20世紀フォックス
ホームエンターテイメント
ジャパン
2003

いい映画ですね。ちょっと下品なところもあるけど。



座：えー、それでは最後に、学生のみなさんに対して一言お願いします。

戌：今さらながら、学生の時にもっと本を読んでおけば良かったなあと思っています。当時は本を読む時間があつたら、もったいなくてももっと別のことをした方がいいかと思っていたんですけど。ぜひ、みなさんには一歩踏み出していただいて、読書を始めてみてはいかがでしょうか。

巳：本を読むことに時間を充てるのがもったいないという気持ちは分かりますね。目も疲れるし……。でも、部活とかしていない人は講義の空いている時間に困ると思うんですよ。そんなときには、新着もたくさんあるので、DVDを利用してください。

辰：大学4年間って人生の中でも一番自由な時間だと思うので、バイトであれ何であれ、自分のいろいろな知識や経験を積み重ねていってほしいですね。で、その中の選択肢として図書館という場所もあるよ、というふうにもってもらえれば嬉しい。毎日来てもらえなくても、時々思い出していただければ充分です。

座：はい、では今回はこんなところで。新入生、在学生のみなさん、ぜひ図書館を積極的に利用して実りある学生生活を過ごしてください。今日はお疲れ様でした。

まだまだこんな図書やDVDもあります。



歯に衣着せぬ海舟篇
氷川清話
勝海舟 [述]；
江藤淳、
松浦玲 編
講談社 2000
講談社
学術文庫；
[1463]



一人暮らしの方にも
MOCO'S
キッチン Recipe
Collection :
速水もこみちの
おいしい&
カンタンレシピ
満載！
日本テレビ放送網
2011



今日からヨガデビュー
月ヨガ :
心とカラダを
整える28日間
浄化メソッド
島本麻衣子 著
講談社
2012



最近の一番人気
モテキ
大根仁
監督・脚本
テレビ東京／
電通
2011



ジブリもあります
コクリコ坂から
宮崎吾朗 監督
ウォルト・
ディズニー・
スタジオ・
ジャパン
2012



山ガール必見
登る女
(富士山・立山編、
屋久島編、瑞牆山・
金峰山・南尾瀬編、
ハケ岳編)
BS 日本
BS 日テレ
2011



大学図書館アルバイト

文＝田 湯 文 将

(たゆ ふみまさ)

大学院 工学研究科建設工学専攻 2年

大学図書館のアルバイトについてですが、最初に頂くマニュアル通りに業務を行うだけなので、今まで特に対応等に困ることはありませんでした。もし修士課程を考えてる方がいたら図書館のアルバイトは研究の妨げになることもないと思いますしやっつた方がよいと思います。アルバイトをして気がついたことですが、利用者の中に卒業生や学外の方が意外と多かったことです。それだけ本学の図書館には社会に出ても必要となる文献が多いということをものがたっていると思われる。新入生の方も積極的に図書館を利用して専門分野の知識を身につけましょう。

最後に私が学部生時代にやっついたら良かったと

思うことを言わせてもらいます。私は、サークルに所属しておらず、アルバイトの経験もなかったのですが、こういうことをやっておくと就職活動の時にネタにもなりますし、今になって考えたらやっておいた方が良かったと思っています。自分が修士課程に進んだこともあります。もっと専門知識を身につけるように勉強しておくべきだったとも思っています。私がやっつくべきだったと思ったことを長々と述べましたが、実際の所、仲の良い友達をつくってワイワイ遊んでいれば、なんだかんだで卒業は問題なくできると思います。なので、これからのキャンパスライフをエンジョイしてください。

図書館からのお知らせ

図書館では、**第58回**
図書展示を開催します。
素描の素晴らしさを是非、
一度見に来て下さい。

展示内容：Leonardo da Vinci
展示期間：2013年4月1日～9月30日
展示場所：本館1階自由閲覧室前

編集後記

新入生みなさん、ご入学おめでとうございます。

大学生活の4年間は本当にあっという間に過ぎていきます。勉学に励むもよし、部活動に打ち込むのもよし、遊びにアルバイトに、充実した大学生活を送ってください。

さて、アルバイトは大学から始める、といった方も多いのではないのでしょうか。飲食店や販売業の接客だったり、皆さんが経験するアルバイトの中でも最も多いのがサービス業ではないかと思います。

「ディズニー サービスの神様が教えてくれたこと」(請求記号：689.5/KAM 資料ID：0771983)はディズニーラ

ンドで働く従業員の、マニュアルを超えた心配りや、おもてなしの極意が紹介されています。アルバイトをしていく中で、例えば、理不尽なことで怒られたり、時にはクレマーの対応などで挫けそうになることもあるかもしれませんが、そんなときにはぜひ一度読んでみてください。自分のサービスに対する姿勢や態度、周囲との人間関係を見つめ直すきっかけになるかもしれません。

ディズニー好きの方はもちろん、そうではない方にもお勧めの一冊です。